

# 県初の男子プロサーファー

## プロになることが 子どもの頃からの夢

マリンスポーツの1つサーフィン。そのサーフィンで県内男性初のプロになったのが、弱冠18歳の本田孝義さんです。本田さんがサーフィンを始めたのは、なんと3歳。父・孝文さんの影響を受けてのことです。さらに、「小学3年生の時にはプロを意識し始めました」と話してくれました。

当時、その思いを知った孝文さんは、合格率2%ともいわれる狭き門であることを知っていたため、今後一切甘い言葉を掛けないことを決意。本田さんが小学5年生の時には、サーフィンの本場オーストラリアへ1カ月半の間、単身送り出しました。その甲斐もあり、本田さんのサーフィンの技術はめきめきと上達していったそうです。

## 世の中に絶対無理なことはないと証明

高校在学中のプロ試験合格を目指していた本田さんです

が、高校2年生時に「ここで決めたい」と臨もうとした令和2年の試験は、コロナ禍で中止になったことなどから本田さんのモチベーションは、「当時は海にも行きたくありませんでした」というほど低下してしまいました。

その状態は、令和3年の試験の1カ月前まで続きました。そんな本田さんを立ち直らせたのは、亡くなった母方の祖母と交わっていたプロになるという約束。そして、父と二人三脚で歩んだ日々。気持ち奮い立たせ臨んだ令和3年9月の試験で合格し、見事プロサーファーとなりました。

『熊本には(サーフィンができる)海がないからプロは無理だよ』という雑音もありましたが、諦めなければ絶対に無理なことはないと証明できたと思う」と熱く語る本田さん。現在は、もう1つの夢である消防士になるため、専門学校に通っています。取材時には素直に言えなかった、孝文さんへの感謝を胸に。

下段写真左から／プロ試験時に使用したサーフボード／アメリカ・カリフォルニアのU16とU18の大会で入賞(本人提供)／華麗に波に乗る本田さん(本人提供)



本田さんの情報は、  
インスタをチェック。

